

東洋大学国際 P P P 研究所紀要執筆要領

東洋大学国際 P P P 研究所紀要投稿規程（以下「投稿規程」という）に基づき、特別論文、投稿論文、研究論文、調査報告を投稿しようとする者は、この執筆要領に従って執筆するものとする

1. 言語

記述は、原則として日本語（原則として、常用漢字、現代仮名遣い、算用数字を使用）又は英語とする。その他の言語にて執筆する場合には、用いる言語の種類などの必要事項を、予め東洋大学国際 P P P 研究所紀要運営委員会（以下「委員会」という）に申し出ることを要する。

2. 原稿量

MS-Word A4 サイズ 10 ページ以上で上限なし（図表、注記、参考文献を含む。概ね上余白 35mm、下余白 30mm、左余白 30mm、右余白 30mm。）とする。ただし、委員会が必要と認める場合にはこの限りでない。

3. 様式

原則として A4 サイズ横書きとし、1 ページ 40 字×36 行、フォントサイズ 10.5pt で作成する。各ページの下部中央に、ページ番号として通し番号を付す。

4. 図表

図表を使用する場合は使用順に連番を振り、挿入箇所を明記する。

（記載例）：・・・というデータが得られた（表 1）。＜表 1 を挿入＞これらの調査を通して明らかになったことは・・・

※ 表 1、表 2、図 1、図 2 のように連番を振る。

※ 図表は、出所を明確に表記する。

※ 図表はグレースケールで判読、区別が可能な文字色、背景色を使用すること。

※ 図表ファイルを文章ファイルとともに送付すること。

5. 提出形式

原稿は、文章ファイル、図表ファイルそれぞれに分かりやすいファイル名をつけ、氏名・住所・電話番号・メールアドレスを明記した上で、電子メールへの添付またはデータ転送サービスで送付する。

ファイル形式は、MS-Word 文書形式（.doc）とする。

＜送付先＞ 電子メール：mlpppre@toyo.jp

6. 構成 原稿の構成は、原則として次のとおりとする。

- ① 論文題名
- ② 執筆者所属・肩書き等
- ③ 執筆者氏名
- ④ 目次
- ⑤ 本文、図表、及び脚注
- ⑥ 参考文献
- ⑦ 英語による論文題名、執筆者所属、執筆者氏名、英文要約

※ 項目番号は、第1章→1→(1)→①の順に振り、必要に応じて「章」の次に「節」を設ける。

7. 参考文献

参考文献は、著者の氏名の五十音順若しくはアルファベット順（同一著者の文献の場合には発表年順）に一括して表示する。

（記載方法の例）

※著書の場合 著者名 発行年 著書題名 出版社

※論文の場合 著者名 発行年 論文題名 発表雑誌（巻・号など） 出版社 論文掲載ページ

なお、本文中の扱いについては、以下の例による。

（記載例）

※単著の場合・・・佐藤（2024）によると・・・とされている（佐藤、2024）。

※著者2名の場合・・・佐藤と田中（2024）によると・・・とされている（佐藤と田中、2024）。

※著者3名以上の場合・・・佐藤ら（2024）によると・・・とされている（佐藤ら、2024）。

8. 英文表記 論文題名、執筆者の所属・氏名について、英語にて表記するとともに、英文要約を、200words 以内で記述する。但し、英文表記については、委員会で修正することがある。

9. キーワード 論文内容に適したキーワードを数語抽出し、原稿送付の際に連絡すること。

10. 審査

投稿論文は、投稿者の氏名を伏して査読を行う。公平な審査を行うため、審査の段階では、執筆者名と所属は査読者が識別できないようにする。本文中の表記においても、執筆者名が推定される記述を行ってはならない（掲載が決定された段階で、しかるべき記述に戻す）。

特別論文、研究ノート、調査報告に関しては、査読は行わない。ただし、研究倫理等の観点で修正を求めることがある。

12. その他

その他、執筆に際して必要な事項は、投稿規程に定める。それらの規程に定められていない事項については、委員会が決するところによる。